



レイヤ2 ネットワーク設定の前提条件

- [レイヤ2 の前提条件 \(1 ページ\)](#)

レイヤ2 の前提条件

このガイドで説明するタスクを実行する前に、以下の事柄を完了しておいてください。

- ACI ファブリックをインストールして、APIC コントローラがオンラインになっており、APIC クラスタが形成されていて健全な状態であることを確認します。詳細については、『*Cisco APIC Getting Started Guide, Release 2.x*』を参照してください。
 - レイヤ2 ネットワークを設定する管理者のために、ファブリックの管理者アカウントを作成します。詳細については、『*Cisco APIC Basic Configuration Guide*』の「*User Access, Authentication, and Accounting*」および「*Management*」の章を参照してください。
 - ACI ファブリックにターゲット リーフ スイッチをインストールし、登録します。詳細については、『*Cisco APIC Getting Started Guide, Release 2.x*』を参照してください。
- 仮想スイッチのインストールと登録の詳細については、『*Cisco ACI Virtualization Guide*』を参照してください。
- レイヤ2 ネットワークを利用するテナント、VRF、およびEPGを(アプリケーションプロファイルやコントラクトとともに)設定します。詳細については、『*Cisco APIC Basic Configuration Guide*』の「*Basic User Tenant Configuration*」の章を参照してください。



注意

ファブリックのリーフ スイッチとスパイン スイッチの間に1 ギガビットイーサネット (GE) または 10GE リンクを設置すると、帯域幅が不十分なために、パケットが転送されずにドロップされる可能性があります。これを避けるためには、リーフ スイッチとスパイン スイッチの間で 40GE または 100GE リンクを使用してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。